

生活社会教育コース 家政教育系

コース紹介詳細は
Webページへ



取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(家庭)

または

中学校一種(家庭) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(家庭) など

持続可能な社会をめざして明日の生活を創造しよう

私たちの生活をよりよくしたいと思いませんか？ 自分らしく、支え合いながら、豊かに暮らしたいと思いませんか？ 私たちの日々の暮らし(生活)の基礎となる「家庭」を中心に、生活を科学するのが「家政学(生活科学)」です。この家政学を学問的基盤とし、人間、社会、環境とのかかわりを重視し、よりよい暮らしを創造・実践していくのが「家庭科」です。近年、生活にかかわる課題は多様化・重層化しつつありますが、これらの課題の解決と持続可能な社会を構築していくために家庭科では多様性(ダイバーシティ)などグローバルな視点を大切にしています。

自立・共生と豊かな暮らしの実現を目指して未来を切り拓く家庭科について、共に学びましょう。



ちらし寿司・茶碗蒸し・わらびもち

●カリキュラム・特徴ある授業や取り組み●

小学校及び中学校・高等学校の家庭科教員免許に対応し、被服学、食物学、住居学、家庭経営学、保育学の各専門領域と、教科の理論や指導法を学ぶ家庭科教育学をバランスよく学べます。授業は、講義のほか実習・実験・演習など多様な学習形態を取り入れ、講義で学んだことを知識・技能として定着させることができます。生活者として、教員としての高い実践力を身につけられるようなカリキュラムとしています。

●主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
初等家庭科教育法 家庭科内容論	中等家庭科教育法 被服学概論 食物学概論 住居学概論 家庭経営学概論 保育学	中等家庭科授業演習 被服科学 食生活論 住居設計・製図	家庭科教育学 食物学実験 家族関係論 卒業論文

被服学概論(被服実習を含む)

この授業ではスモックと浴衣を作ります。身体を包むには意外と大きな布が必要で、スモックなら110cm幅の布を2mくらい、浴衣なら36cm幅の布を11mくらい使用します。これを和洋の縫製技術を駆使し、衣服の形にしていきます。製作は大変ですが、体験することで得られる理解と出来上がった時の喜びは格別です！



卒業論文発表会

家政教育系では3年次の秋から卒業論文に取りかかります。家庭科に関するこれまでの学びを「研究」に深化・発展させ、その集大成を後輩や教員に対して発表します。それぞれが生活の中から見出した課題に対し、探求心をもって取り組んだ独創性のある研究成果を発表する4年生の姿は、後輩学生のロールモデルにもなります。



MESSAGE

学生メッセージ 4年生 T.H. さん (岐阜県立東濃実業高校出身)

アットホームな家政教育系で、実生活にも役立つ多くの学びを得ることができました。

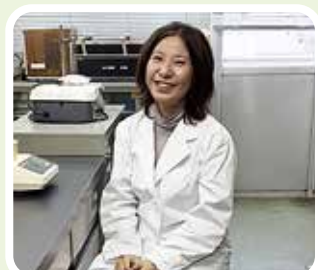
家庭科の専門的な知識を持った熱心な先生方から、一人ひとり丁寧な指導を受けることができます。各分野の授業で学んだ内容は、家庭科の教員になるための学びとしてはもちろんですが、毎日の生活にもとても役立っています。アットホームな雰囲気の中で楽しく家庭科を学ぶことができ、充実した学生生活を送ることができました。



教員メッセージ 岡松 恵 先生 (専門分野: 被服学)

衣生活は、発展的で創造的なものだと思います。

私は実験や実習も担当していますが、専門は小袖模様の研究です。小袖模様には江戸時代の人々の美意識や心情が表れています。現在、衣服はあふれ、断捨離され、その価値が削がれていますが、現代の衣生活においても昔と同様に美や楽しみがあり、それを見出そうとすることは、日々の生活を営む上で意外と大切なことなのです。



研究紹介①

神山 久美

～研究テーマ～
消費者教育
生活経営学

神山 久美 Kamiyama Kumi
文部科学省消費者教育推進委員会や経済産業省消費経済審議会、地方自治体の委員等に携わり、令和6年度消費者支援功労者表彰(内閣府特命担当大臣表彰)受賞。山梨大学教育学部附属小学校校長(兼任)。



消費者教育の推進を目指して

小・中・高校の家庭科では、消費者教育を体系的に学びます。成年年齢の引き下げやSDGsの影響により、その重要性が高まり、消費者市民社会の構築を目指す内容へと発展しています。

学習指導要領改訂の際に、山梨県との教育関係者と作成した「小学校・中学校における消費者教育：成年年齢引き下げを見据えた指導のために」(消費者教育教材資料表彰優秀賞受賞)などを活用し、実践的な消費者教育を推進できる教員の養成に努めています。

学生の教育実習の写真は、この教材掲載の「買い物はお金の投票」の図を使い、消費者の選択・行動が社会に与える影響を小学生に考えさせている場面です。また、その下の写真は、おこづかいに関するすごろく教材を試行しながら、子どもの金融経済教育について学生が意見を出し合う授業の様子です。



研究紹介②

志村 結美

～研究テーマ～
家庭科教育学
キャリア教育

志村 結美 Shimura Yumi
証券会社勤務、都立高校家庭科教諭を経て現職に。家庭科の楽しさ、おもしろさを伝えることが目標。ハンググライダー、空手道、スキー、ダイビングなど多様なスポーツにTRY。現日本家庭科教育学会副会長(～2025年7月)。



家庭科っておもしろい！

家庭科は日々の私たちの生活の営みを真ん中におく唯一の教科です。全ての学びは私たち自身の現在や将来と関わりがあるだけではなく、私たちを支える家族や社会、環境をも動かすことに繋がります。身近な生活にこそ、自らや社会の課題を解決する鍵が隠れています。そんな鍵を探して、鍵をまわして、課題を解決、開放していきましょう。「Think Globally, Act Locally!」

そのような家庭科を真正面に見つめ、家庭科のあり方を追究するのが家庭科教育学です。研究は、主に「家庭科におけるキャリア教育」や「家庭科の教員養成・研修」等をテーマとし、家庭科教育に関連した実践研究等にも取り組んでいます。

以下は、大学の授業の様子や、卒業研究における卒業生の授業実践の様子です。多くの卒業生が教員として頑張っています。



コースの紹介

「家政教育系、ここが魅力！」

多彩で専門性の高い実験・実習・演習
仲間同士で高め合える学生生活

家政教育系では各教員の専門性を活かした実験や実習、演習の授業が展開されています。学生と教員の距離が近く、また学生同士は学年を問わず交流が深いため、同じ志を持った仲間同士で協力しあい、力を伸ばすことができます。

秋頃に行う懇親会では、各学年が一品ずつ腕ふるい、家政教育系ならではの美味しい昼食を楽しむなど、和やかな環境が魅力です。

